

ZENRAKUREN

MEMBER'S INFORMATION

全酪連会報

嫁・婿が語る酪農の魅力／ 江崎美咲さん

「理解醸成活動」東京・有楽町駅前にて
大々的にPR!!

全酪連の冬ギフト

人事異動



酪農トピックス／
西川農林水産大臣がミネロ牧場を視察
(福島県酪農協より) ほか

日本酪農見て歩紀 (岩手県岩手町 山中博喜牧場)



11

2014 November No.590



全国酪農業協同組合連合会

明るく元気に長〜く！

11月の嫁 江崎牧場 江崎美咲さん

「嫁・婿が語る酪農の魅力」第22弾として、
江崎牧場の江崎美咲さんにお話を伺いました。



嫁・婿が語る

酪農の魅力 ②②

江崎牧場の概要と役割分担を
教えてください

私たちの牧場は、県庁所在地である岐阜市に在ります。岐阜市は人口が約42万人で、市内中心を流れる長良川の1300年の歴史を持つ鵜飼いや、織田信長造営の岐阜城が特に有名です。美濃酪農農業協同組合連合会に所属しています。

酪農の経緯は、昭和29年に義父が乳牛を2頭導入し、それまでの稲作との複合経営が始まりで、昭和46年には校舎廃材で30頭牛舎を建て、その後42頭牛舎へ増築して今日に至っています。主人が昭和58年に農業大学校卒業と同時に就農して以降、乾燥ハウス、堆肥舎を新築、平成2年には尿の下水道処理を開始しました。

牧場は市街化区域となっており、周辺は混住化が進み、住宅、

商業ビル、工場等に囲まれ、すぐ脇の道路は小中学校の通学道路でもあり、景観、環境には特に気を遣い、不快感を与えないよう努めています。

家族は主人(裕貴52才)、私(美咲52才)、長女(由佳26才)、次女(文香25才)、長男(聖人23才)、義父(紳治79才)、義母(秀子77才)の7人です。労働力は私たち夫婦と義父で、搾乳が主人と義父、私が飼料給与、子牛管理、糞尿処理を担当しています。搾乳が終われば私の仕事を手伝ってもらっています。私も主人も諸役員のためや研修会参加等で外出することも少なくありませんが、ヘルパー利用なしで支障なく回っています。

経営の特徴は、近くの長良川河川敷利用やWCS生産による粗飼料の自給、豆腐粕活用のエコフィード、NON-GMO原料使用の濃厚飼料の給与です。



牛舎周辺は建物が隣接する

ご主人と結婚するまでの経緯
を教えてください

実家は同県海津市にあるいちご生産農家ですが、私は銀行に勤務していました。たまたま、私の弟と主人の従妹が高校の同級生で知り合いであったため、それぞれの茶の間に相手家族の話題が上るようになり、いつしか見合いということになってしまい、それが最初の出会いでした。お互いに相手に対する印象は悪くなかったので、付き合

いが始まりました。私も農家出身ですが、酪農のことは全く知りませんでしたし、主人も酪農のことを見聞させることはなかったのですが、両親からは酪農は大変みだいたとの話を良く耳にしていました。でも「体験してみないと分からないじゃない」との思いのまま、2年の月日を重ねて昭和63年、25才で結婚にゴールインしました。

結婚後のお話をお聞かせください

酪農に従事してみて、小学1年生レベルの私にとっては何もかも1からのスタートだったので、大変と思ったこともあります。主人や両親の教え、サポートのおかげで挫折することなく続けてこれた感謝しています。

3人の子供たちにも恵まれ、守しながらの作業も懐かし、大きく育ち、長男は「酪農を継ぎたい」と言ってくれており、これからの楽しみの一つです。

酪農のどんなところに魅力を感じますか？

家族一緒に働き、生活できるところ、命に対する感動を得られること、正しい管理に牛が応えてくれること等です。

家族間の絆は他の人間のそれより強いですし、仕事の成就、継続には大きな力だと思います。何も知らなかった私が今こうしてあるのもそのおかげです。

酪農は生命産業と言われるのが、特に分娩が近づくとき理屈抜きに無事に生まれて欲しい、瑕疵なく出てきて欲しいという自然な感情がこみ上げて来て、好結果については感激を味わいます。会社勤めでは、これほどの感動は経験できないような気がします。

それから「牛はうそをつかない」という話を聞いたことがあります。酪農は、私もなるほどという体験があります。全酪連セミナーに参加し、学んだことを実践

したら哺育成績が良くなり、下痢や病気もほとんどなく大きく育ってくれて自信が付きました。酪農家は皆さん正しいと認識して管理されていると思いますが、良い結果が出ないときは客観的情報、最新情報も必要ではないでしょうか。

今後の目標についてお聞かせください

酪農経営は、飼料、燃油が高騰

NON-GMO原料使用の濃厚飼料を使用



牛舎内 ▶



し、高コスト化により非常に厳しい状況です。

私たちの経営環境は都市近郊酪農で増頭は難しいし、移転する力もありませんので、主人と相談しながら、低コスト、高生産性をバランス良く追及して所得確保に努めていきたいと思っています。

それから、逆にこのような環境を生かして、自分たちの生乳で乳製品を造り販売するのが夢です。

ご主人に一言お願いします

これからは宜しく願います。外に出るときは理解して協力してください。元気で明るく長く酪農を続けたいです。

ご主人から奥さんへ一言

これまでありがとう。体を大切に、これからもいっしょに酪農を長くやっていきたい。よろしく。

消費者の方々に酪農業に対する理解を求める

理解醸成活動

東京・有楽町駅前にて 大々的にPR!! —前後して全国各地でも開催—

日本から国産の牛乳・乳製品が
無くなるかもしれません!



だから酪農家は頑張っています。
応援してください、ゴクゴク国産牛乳!!



半澤委員長による街頭演説

飼料原料や燃料の高騰に円安の影響が加わり、経営難などによる酪農家の廃業が続く、**このままでは国産牛乳・乳製品がなくなるかもしれないことや、国産牛乳をより多く飲んでいただきたいという想いを、飼料サン**

10月29日(水)、東京都千代田区有楽町駅前広場にて、本会主催による酪農業に対する理解醸成活動を開催しました。昨年は、飲用牛乳の値上げに際し、牛乳消費の落ち込みを防止する目的で開催しましたが、今年は酪農業が置かれている現状を消費者の皆様伝えるべく、全国酪農青年女性会議にも協力をいただき、総勢36名でPR活動を行いました。

全国酪農青年女性会議の半澤委員長を始め、委員の方々が「私たち酪農家は、ここ5年間で約2割も減っています。高齢での廃業もありますが、エサ代や輸送費、さらには急激な円安のためにコストが大幅に増え、収入の減少が止まらないのです。このままだと、安全・安心な国産

ブルやパネル、牛の模型を展示し、また牛の着ぐるみや統一のハッピを着て視覚的にも訴え、街を行く方々に保冷エコバックとチラシを配布することでPRを行いました。



◀ 牛の着ぐるみはやはり人気



▶ 説明をしながら配布を行う

牛乳・乳製品を安定して皆さんにお届けできなくなる日が来るかもしれません。どうか私たちが心を込めて搾った牛乳をたくさん飲んでください」と街頭で訴え、主婦の方を始め、若い方も足を止めて説明を聞いていただき、酪農家の厳しい現状を理解していただく良い機会となりました。

理解醸成活動は、この東京での活動に前後して、全国各地のイベント等でも実施いたします。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



PRの様子 ▶▶



福島県酪農協より

「第21回ふくしま酪農まつり」5年ぶりに開催!!

おいしい福島県産牛乳を消費者へお届けするとともに、福島県酪農の復興した姿を伝えたい!!

9月14日(日)、福島市のあづま総合運動公園・巨石広場において、21回目となるふくしま酪農まつりを5年ぶりに開催しました。開会セレモニーでは、安齋利勝ふくしま酪農まつり実行委員長が、「震災や原発事故などにより、福島県の酪農は非常に苦悩したが、厳しい自主規制の下、粗飼料を給与制限し、牛乳についても公的検査及び自主検査を厳密に行うなど、震災以降一時出荷制限はあったが出荷再開後は一度も放射性物質を検出せず、安全管理を徹底している。このような中で、私たち酪農家は毎日一生懸命に乳牛を飼育し、おいしい牛乳を生産し、消費者のみなさまにお届けしているという福島県酪農の復興をご理解頂きたく、今回5年ぶりに開催する運びとなった。素晴らしい会場で、好天に恵まれた中で開催できることを非常に喜んでいる。来場者のみなさまも時間が許す限り楽しんで頂きたい」と挨拶しました。続いて、但野忠義代表理事組合長、佐藤洋子県北やまびこ会婦人部会長、喜古林尚県北酪農青年研究会会長代理らが、一番のりで会場へきていた子供2名と一緒にテーブルカットを行うと、5年ぶりの復活を心待ちにしていたたくさんの来場者は大きな拍手で開催を喜び、歓声が上がりました。

会場では搾乳体験や子牛のふれあい園が行われ、牛にふれるたびに子供たちの歓声が上がり、家族連れの長蛇の列ができるほど大盛況でした。

また、来場者が参加するアトラクションも準備されており、乳搾り大会や牛乳早飲み競争は、

子供から大人までたくさんの方が参加し、会場から声援が送られ、大いに沸き盛り上がっていました。この競技に参加したいと、開園前に会場入りする子供たちもいるなど、楽しみにしていたというワクワク感が伝わってきました。

酪王牛乳や酪王カフェオレ・ソフトクリームなど牛乳乳製品の販売や家庭でも牛乳をアレンジして楽しむ牛乳普及PRコーナー、バターチャンでバターを実演するコーナーでは出来立てのフレッシュバターの試食を行い、おいしい福島県牛乳乳製品を思う存分味わいながら、買い求める姿が見受けられました。

子牛を見ながらスケッチするコーナーや牛乳パックを使って作る帽子コーナーは、子供たちに大人気で、たくさんの子供たちがスケッチや工作を楽しんでいました。時々、帽子作りを体験したいという大人の方も参加し、牛乳パックで帽子ができることに驚き、また、作ってみようという声が聞かれました。

お昼ときには、牛肉を味わおうと炭火焼肉を楽しむ方が多く、縁日コーナーのなみえ焼きそば、ポップ焼き、ポップコーンなども大盛況でした。

5年ぶりの開催となった今回の「ふくしま酪農まつり」では、5,000名が来場し、福島県産牛乳乳製品の安全安心をPRするとともに、福島県酪農の復興に取り組む姿や酪農の魅力を会場に足を運んでくださった方に伝えることができました。(W.H)



牛乳早飲み競争 ▶

◀ スケッチコーナーには大勢の子供たちが集まる



◀ 子牛のふれあい園



▲ 搾乳体験

▶ 乳搾り大会



福島県酪農協より

西川農林水産大臣がミネロ牧場を視察



集合写真

西川公也農林水産大臣は9月14日(日)、就任後初めて福島県を訪れ、東京電力原発事故からの復興に取り組む福島県内の農林業を視察しました。

伊達市のあんぽ柿園地や川俣町の花栽培を視察後に福島市ミネロ牧場に到着し、但野忠義代表理事組合長、紺野宏場長、田中一正社長らが



視察の様子

出迎え、紺野場長の説明で牛舎へと案内しました。

視察後、組合長からは復興なかばの福島県酪農への支援要請書を西川農水大臣に手渡し、休業酪農

家の再開に向けた支援と酪農生産基盤回復への施策支援をお願いしました。

西川農林水産大臣は自民党きっての農政通で、栃木県選出ということもあり、酪農についても非常に理解が深く、紺野場長には「ミネロ牧場では今何が必要ですか」等の質問をされ、現状を深く理解して頂きました。

また、田中社長には(株)フェリスラテの立場で復興牧場への支援をお願いし、出来ることは支援していくという心強い言葉を頂きました。

今回の視察には、中川郁子、佐藤英道の両政務官も同行し、最後に酪王牛乳・カフェオレを美味しく飲んで頂きました(西川大臣はカフェオレの愛飲者だそうです)。

(W.H)

仙台
支所発

東北酪農専門団体協議会「組合長懇談会」が開催される



懇談会の様子 ▶

去る10月7日(火)、仙台市において東北酪農専門団体協議会の「組合長懇談会」が開催されました。

冒頭、原田陽一会長(山形県酪農業協同組合代表理事組合長)は、「僅か10年後には人口の1/4が75歳以上になる。時代の流れの中で酪農はどうあるべきか、地域の中で果たす役割をしっかりと考えていかなければいけない」



▲ 原田会長

と述べました。

懇談会は11名の参加があり、生産基盤維持に関しては、「新たな投資ができない現在、後継者にも新規就農者と同等の策を打つべき」「やる気のある世代に策を打たね

ば、戸数の減少は止まらない」「必要なところに的確に使える仕組みを構築すべき」などの意見がありました。

乳価については適正価格維持のために量販店へのアプローチも必要だとし、「安売りメーカーへの配乳制限はできないか」「組織整備などは常に考えなければならない点が多い」などの意見が出されました。

耕畜連携では、国土保全や地域の社会的役割から「しっかりと取り組んでいかなければいけない」との意見が多く、「地域社会・経済・環境を守る上で重要な取り組みである」と話し合われました。

議論はその後多岐にわたり、今後の東北酪農の団結を再確認した時間となりました。(I.M)

北福岡
工場発

酪農生産者・地域の皆様に支えられて — 北福岡工場「第28回ミルク祭り」開催！ —

9月21日(日)、本会の北福岡工場（岩手県二戸市・木元工場長）で、秋晴れの下「ミルク祭り」が開催されました。

朝9時30分、二戸市の子供達と本会酪農部の岡本副部长、木元工場長によるテープカットでミルク祭りは開会し、全国大会で銀賞受賞の石切所小学校マーチングバンドの演奏がありました。主催者を代表して本会酪農部の岡本副部长の挨拶の後、来賓の二戸市 藤原淳市長、岩手中央酪農業協同組合 佐々木勲代表理事組合長（本会 代表監事）に祝辞を頂き、祭りを盛り上げていただきました。

工場内の広場には、本会の乳製品や奥中山高原農協乳業(株)の牛乳・乳飲料の即売コーナーが設けられた他、工場従業員によるソフトクリーム・焼きそば・焼き鳥の販売コーナー、岩手中央酪農協からも串もちや田楽の販売コーナー、そして地元産直からは、新鮮野菜やくだもの販売コーナーが設けられました。

また、独立行政法人・家畜改良センター岩手牧場は酪農PRコーナーの設置や手作りの牛模型による乳搾り体験を実施。地元企業ユアテック(株)にも協力いただき、高所作業車による地上13mの展望体験もあり、大勢の子ども達は列を作って賑わいました。



▲ 多くの人たちで賑わう広場中央



◀ 手づくりバターコーナー

▶ ゴーダチーズカット実演



広場中央や特設ステージでは、子ども達による牛乳早飲み競争や、恒例になった地元民謡会による民謡披露、2年連続となる一戸高校女子学生「華一」の、縄文文化の豊かな自然や豊作を祝い自然に感謝の気持ちを表現する踊りもあり、大勢の来場された方々からも大きな拍手をいただきました。

さらに、手作りバター体験コーナーやゴーダチーズのカット実演も評判がよく、恒例となった最後の大会抽選会では、当選番号の発表のたびに会場は大きな歓声に包まれました。

当日は、曇一つない秋晴で、入場者は昨年を大きく上回り、多くの方々に待ち望まれている祭りだと再確認できました。

これからも、北福岡工場は地元・二戸市に根ざした工場として、二戸市民に愛される工場を目指していきます。

(T.H)

東京
支所発

「第25回栃木県ホルスタイン共進会」、 「栃木県酪農フェア2014」が開催される

去る10月18日(土)に栃木県畜産酪農研究センター(那須塩原市)にて、「第25回栃木県ホルスタイン共進会」、「栃木県酪農フェア2014」(両主催：栃木県酪農協会)が開催されました。

秋晴れとなった当日は、家族連れを含む多数の来場があり、大盛況の1日となりました。

県内から選りすぐられた61頭が出品された今共進会は、11月に茨城県で開催される第17回関東地区ホルスタイン共進会の予選を兼ねていることもあり、各生産者の方が日頃積み重ねた愛牛の成果



◀「栃木県酪農フェア2014」
多くの家族連れの
来場により、大盛況

「弊会出展ブース」▶
生産者の方、一般消費者の方、
お越し頂きありがとうございました



▲「第25回栃木県ホルスタイン共進会上位入賞者」
関東地区ホルスタイン共進会での健闘をご祈念申し上げます

を競い合った、レベルの高い品評会となりました。

東京支所では、9月から稼動いたしました『那須青木TMRセンター』、並びに移行期配合飼料の『ドライ&フレッシュ SE』の製品説明と紹介を兼ね出展し、多くの生産者の方、また一般消費者の方の訪問を頂きました。

消費者の方には酪農の現状の理解醸成を、生産者の方にとっては愛牛がより美しくなるべく意識をしていただく有意義なイベントとなりました。(N.T)

福岡
支所発

平成26年度役員研修視察を実施 — 九州・沖縄地区酪農団体協議会 —

九州・沖縄地区酪農団体協議会(尾形文清会長)では、10月21日(火)～22日(水)、広島県酪農業協同組合・みわTMRセンター(広島県三次市三和町)や同センター製品の利用牧場、飼料イネ圃場等への研修視察を実施しました。

みわTMRセンターは今年3月に竣工した最新設備を備えるTMRセンターであり、粗飼料・濃厚飼料・ミネラル・粕類等を混合調整したものを



▲ラップボールマスタ(圧縮梱包)

六面梱包(圧縮)した後に数週間嫌気性発酵させ、嗜好性と保存性に優れた混合飼料を製造し

ています。

そして、この混合飼料を利用している安瀬平牧場(同町)では、固く圧縮された混合飼料を給与しやすいように解きほぐす様子や牛群管理等を確認しました。

また、飼料イネ圃場では、籾が少なく茎葉が多収であり、発酵の際に乳酸菌のエネルギー源となる糖の含量が高い品種である「たちすずか」の収穫作業を見ることができました。

視察後には、広島県酪農業協同組合の岩竹重城代表理事組合長、鈴木道弘専務理事、西中晃参事とともに、TMRセンターの運営ノウハウや酪農生産基盤の強化に向けた取組み等の意見交換を活発に行い、充実した研修視察となりました。(I.F)



▲たちすずかの収穫



愛犬リンカーンと ▲

No.258
山中博喜牧場
岩手県岩手町

試行錯誤で奮闘中

地域の紹介

今回紹介する山中博喜牧場は、岩手県岩手郡岩手町にあります。「岩手」が3つも連なりますが、県名が重なるのは全国的に珍しい市町村です。ニューヨーク、北京、マドリッドなどと同じ北緯40度に位置しており、町の北部の御堂地区には西暦807年に坂上田村麻呂が祈願所として建立し、その一族である僧了慶が開いたと伝えられる天台宗北上山新通法正覚院（通称御堂観音）があります。ここにある『弓弭の泉』が東北の最大河川である北上川の源泉とされています。また、ホッケー競技



育成牛放牧場

と彫刻に力を入れている町でも知られています。

山中さんが所属する岩手中央酪農業協同組合（佐々木勲代表理事組合長）は、正組合員177戸、生乳生産量24,212t（平成25年度）です。

牧場の概況

ご家族は、ご本人の博喜さん（36才）、奥さんの由美子さん（37才）、長女涼穂ちゃん（小4）、長男隆澄くん（小2）、父栄喜さん（63才）、母洋子さん（61才）、祖父千太郎さん（84才）、祖母タケさん（84才）。最近では、この辺りでも珍しい4世代8人家族です。

山中牧場は、昭和39年に祖父で



ある千太郎さんが乳牛2頭を導入したのが始まりで、父の栄喜さんとともに現在の基礎を作り上げました。昭和43年に建設した20頭飼いのブロック牛舎は、今も現役です。昭和62年には牛舎を増築し44頭搾乳となりましたが、土地の制約から既存牛舎とT字に建設しなければなりませんでした。しかし、様々な工夫を重ねながら大事に使っています。フリーバーンの乾乳牛舎は、博喜さんが就農してから建てました。

「小さい頃から家業を継ぐのだろうと漠然と感じていましたが、本当は牛より機械が大好きで、工業高校への進学を希望していました。家族の説得により渋々農業高校へ進学したんですけど（笑）。今でも機械いじりは大好きで、大抵のものは自分で修理します。妻が機械を壊したりでもしたら、作業をはたらかしてウキウキして直しちゃいますけどね」

農業大学校を卒業後は、すぐに家に戻り就農したとのこと。就農後は、小遣い稼ぎ感覚で家業を手伝いながら所属する組合の

酪農ヘルパーを4〜5年経験しました。他の牛舎をじっくり見られるチャンスだったので、良い修行になりました。ある農家に行くと、毎日の乳量をカレンダーに記入して、前年のカレンダーと並べて壁に貼り付けていました。それはすぐ取り入れましたし、今も続けています。乳量が目に見えるので、今の状況が明らかです。今年はガツカリの連続ですが（笑）」

他にも、「当時、月に5万円ぐらいは自分の判断で牛舎に使ってもいいだろうと。牛床マットやウォーターカップ、給水配管など、他の牧場で見えたものをいろいろ試してみました。話聞くだけじゃわからないですから。そこで気付きましたが、マットは良いものを使わないといけませんね。マットの良し悪しで、採食量・飲水量が明らかに異なり、当然乳量や繁殖に影響しています。牛の快適性を追求してあげないと経営に大きく影響します」

就農当時から農村青年クラブの活動に関わり、町、県の会長まで歴任しました。「学生時代の仲間



牛舎外観

が多いので、集まれる機会では皆出てきてよく話をしています。顔を突き合わせればいろんな話が出てくるし、多くの人と会話した方がいいですよ、若い人は特に。いろいろな話を聞けますから」

「平成20年に岩手県の青年農業士の認定を受けました。酪農のみならず、農業振興に役立てられればと思い、活動しています。また、農業大学校の研修生の受け入れ等を行いながら、酪農現場を見せています。若い人には言葉より体験・体感してもらった方が刺激になると思いますし、お世話になった大



搾乳牛舎

学校への恩返しです」

また、「26歳で結婚し、同時に経営移譲もしました。父に勧められて受けてはみみたけど、牛の入れ替えや飼養管理などを任せられるようになると、徐々に責任が増してきたと実感しましたね。他にも、重要案件を自分から家族会議にかけて、説明をして了解をもらった時などは責任を感じますね」

自給粗飼料、後継牛は豊富に

「自給飼料畑は、牧草地が51・4



採草地

ha、デントコーンは5・9 ha。牧草もデントコーンも通年給与できます。草地管理に手が回らなかったこともあり、自給飼料の成分が低かったのもそのためかと思っています。自給飼料に合わせてルーサンを買い足したり、配合飼料を変更したりしましたが、やはり草地管理をきちんと行なおうと。昨年からは草地更新を段階的に取り組んでいます。面積に対して堆肥等が足りないかもしれません」

「育成牛舎には放牧場もありま

す。育成牛はいくらでも置けるし自給飼料もあるしで、殆ど自家産で賄っています。後継牛が次々とながってくるもので、搾乳牛舎に収まらない時は未経産で販売しています。新戦力がいくつも上がってくるので、繁殖を重視せずとも牛舎はいつも満杯、乳量もある程度確保できていました。

しかし、検定成績によると、我が家の分娩間隔は長いようで、初妊牛も経産牛も初回種付けまでの日数が長かったんですね。もっと計画的にやらないと、と繁殖重視に舵を切りました」

乳量重視から繁殖重視へ

「妻に繁殖を担当してもらったから、種が付かないのが面白くないって。試行錯誤してみたら空胎の長かった牛12頭全部同じ月に付いちゃって。今は乾乳牛ばかりです。たまたま偏りましたが、来年の乳量が保証されたと考えれば、今は過渡期です。乳量番付が段々下がっているけれどそれは一時的。40日検診をきちんと行い、計画分娩をしつかり実現する。初妊

牛や経産妊娠牛の販売も今まで以上に期待できるでしょうし。おざなりになっていた部分を充実させようとして取り組んでいます。一年一産の実現に向けてね」

将来の夢

「祖父が基盤を作り、父が畑を広げ、この牧場には十分な基礎がある。まだ全てに目が行き渡っていないけれど、きちんと管理できるようにしたい。牛舎も草地も100%能力を引き出せるように。そのために、まずは計画的な繁殖管理を改善しながら、草地管理も整理するため、今は四苦八苦しています。

いずれは牛舎を新しくしなければと考えています。後継牛は今の体系で十分準備できますし。納得のいく設備、機能の牛舎がいいですね。県内外の酪農家へ視察に行ったりしながら、妻と2人で勉強中です。豊富な自給飼料で、搾乳牛には年間通じて一番草の給与をしています。豊かな自給飼料で、搾乳牛には年間通じて一番草の給与をしています。先代から託された基盤を発展させる重責を担っている博喜さんで



PROSPERは『繁栄する』という意味

すが、所属する組合の若手酪農家を牽引し、リーダー的な存在となつてきています。

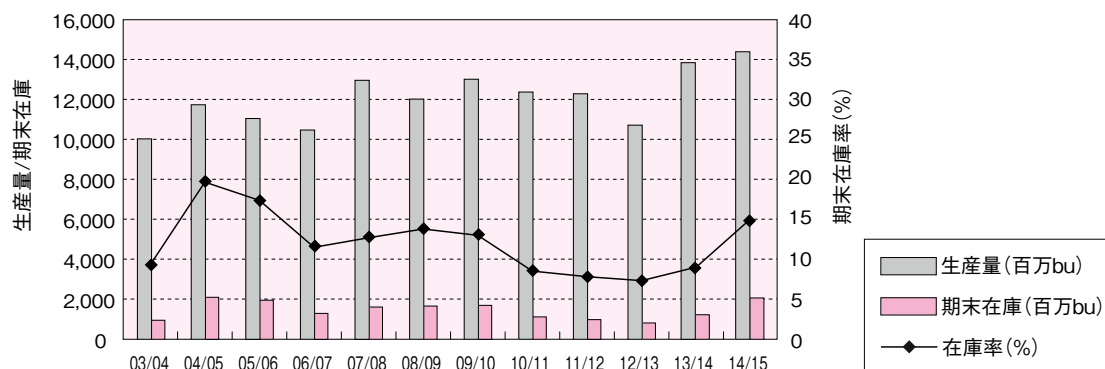
「大切なのは、人と人との繋が。今も酪青婦活動（岩中酪青婦委員長）などで家を空けることも多いですが、これも家族の理解があつてこそ。家族、特に妻にはとても感謝しています」

結婚してちょうど10年。ご実家が酪農家の奥さんは、牛以外のことは考えられないぐらい大の牛好きと自負しており、酪農家に嫁ぐことは当然だと考えていたとのこと。機械が得意なご主人と、牛が大好きな奥さんと、今後の相乗効果が益々期待できる牧場です。

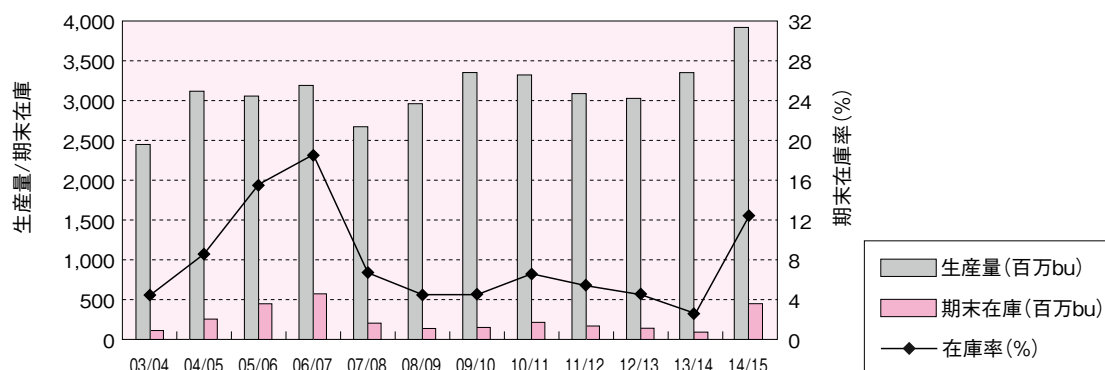
原料情勢 平成26年10月

10月10日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	【13/14年産】 作付面積95.4百万(前月95.4百万) エーカー、単収158.8 (158.8) bu/エーカー、生産量139億2,500万 (139億2,500万) bu、総需要量135億4,600万 (136億) bu、期末在庫12億3,600万 (11億8,100万) bu、在庫率9.1(8.7)%。
	【14/15年産】 作付面積90.9百万(前月91.6百万) エーカー、単収174.2(171.7)bu/エーカー、生産量144億7,500万(143億9,500万)bu、総需要量136億5,500万(136億500万)bu、期末在庫20億8,100万(20億200万)bu、在庫率15.2(14.7)%。
トウモロコシ 相場動向	シカゴ相場は引き続き天候が良好に推移し、需給予想でも単収の上方修正が行われるとの期待から320¢割れまで値を下げたが、10月に入り低温多雨の天候から収穫遅れが懸念され、330～340¢台に戻っている。しかし、今後の天候は改善し、収穫が順調に進むとの見方が強い。材料が出尽くした雰囲気、揉みあいの相場が続くと見られる。今後は、これから作付が始まる南米大陸の生産量に注目されている。
10月10日発表 米国農務省 大豆需給予想	【13/14年産】 需給両面で増加があり、期末在庫9,200万 (1億3,000万) bu、在庫率2.6 (3.8) %
	【14/15年産】 供給面で減少があり、期末在庫4億5,000万 (4億7,500) bu、在庫率12.6(13.3)%
大豆粕相場動向	シカゴ大豆相場は、生産量が史上最高の数字を更新し、豊作が見込まれる状況。相場は長期的に見れば豊作による軟調な推移が予想されるが、収穫の進捗や南米の高温乾燥状況などの懸念材料のため、反転する可能性をばらむ。国産大豆粕は、生産量が低位安定で推移する中、使用量低下や輸入数量増加により価格は軟調に推移した。今期の値下げから使用量増加に繋がれば需給が引き締まる可能性があり、注意が必要。
糖種類	国産フスマは冬場に向け発生時期を迎えるが、小麦粉の消費低迷から発生量は減少傾向にある。他品目価格が軟調に推移しているため使用量減の可能性もあるが、需給状況には注意を払いたい。グルテンフィードは発生量が減少し、今後の需給は締まる可能性が高い。輸入品は、主な輸入元である中国は高値推移だが、一定量は日本に輸入される見込み。
海上運賃	大西洋の船余りも解消され、冬場の燃料等の荷動き期待から年度下期は海上運賃先物が高止まり傾向にある。

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移

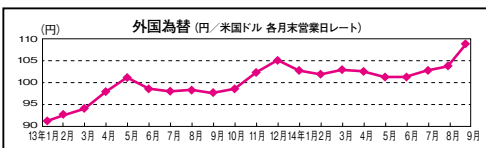


米国産大豆生産量と期末在庫の推移



輸入粗飼料の情勢

平成26年10月

北米コンテナ船 フレート	10-12月のBAF（燃料費調整係数）について、多くの船会社で\$5値上げが実施された。船会社の採算悪化に伴い、年末に向けGRI（基礎レート）値上げ実施も検討されている。
外国為替の影響	14年8月末は103.7円/ドルまで円安が進んだが、9月末は109.5円/ドルまで進み、急速に円安が進んでいる。今後も楽観視できない状況が続くと考えられるため、引き続き買い付ける草種・グレードには注意が必要。  外国為替（円/米ドル 各月末営業日レート）
米国の乳価動向	乳製品の国際相場価格は、依然よりも軟化して推移し始めていることから、来春以降は米国乳価も軟化傾向になることが予想されるが、直近ではそれほど軟化せず、9月は\$24/100ポンドを超えるなど史上最高値の水準が維持されているのが現状。
ビートパルプ	【米国产】14年産収穫が9月上旬より開始し、9月中旬から各地で製糖作業が始まっている。産地では冷涼な気候により単収減が予想されている。
アルファルファ	【ワシントン産】産地では4番刈の収穫が終了。雨当たり被害は1-2番刈で1-2割、3番刈で5-6割、4番刈で3-4割程度発生。3番刈以降のハイグレード品の発生は限定的となっている。中国向けの引合いも増え、産地価格は堅調に推移している。
	【オレゴン産】産地では3番刈の収穫が終盤を迎えており、現時点では雨当たり被害がほとんど発生していない模様。3番刈から国内向けの引合いが増えており、産地価格は堅調に推移している。
	【ユタ産】産地では3番刈の収穫が終了。雨当たり被害はほとんど発生していないと伝えられている。4番刈は10月中旬開始見込み。
	【ネバダ産】産地では3番刈の収穫が終了。1-2番刈で4-5割、3番刈は一部の雨当たり被害が発生した模様。どの番手も良品不足で産地価格は堅調に推移している。
	【北カリフォルニア産】産地では6番刈の収穫が中盤戦を迎える。干ばつの影響を最も受けている地域で、生産量は限定的。州内の酪農家からの引合いが強いため、産地価格は堅調に推移している。
チモシー	【米国产】産地では2番刈の収穫が終了。雨当たり被害がほとんどなく作柄が良好となった1番刈とは対照的に、2番刈は4-5割の雨当たり被害が発生した模様。1番刈の産地価格は昨年よりも軟化傾向だが、期待されたほどの値下げには至らず、同じく作柄が良かった3年前より高値で推移している。
	【カナダ産】1番刈は、大半が中間グレード以下の品質。産地では2番刈の収穫が始まっているが、天候が崩れたため品質にも影響が出ている模様。14年産は米国产より品質が芳しくない傾向にある。
スーダン	【インベリアルバレー産】デュラム小麦の作付面積が減少したことから、早播きスーダンの作付面積は増加した。2回目の収穫が可能な早播きが増えていることから、生産量は昨年よりも増加見込み。早播き1番刈は茎サイズのバラつきがあまりなく、前半戦は過去3-4年で最高の作柄と言われている。デュラム小麦の相場価格が9月より値上がりして推移している模様で、来年に向けバミューダやアルファルファからの転作を決めた生産農家もいると伝えられている。小麦の相場価格によっては、15年産の作付面積の減少が懸念される。
クレイングラス	9/15時点での作付面積は前年対比99%。3番刈以降は、豪雨や湿度の影響も一部あったものの、輸出向けの需要を賄えるだけの生産量は十分にある見込み。産地価格は、韓国・日本向け共に引合いが強く、堅調に推移している。それでも科本科牧草の中では割安感があるため、日本での他草種の8月までの輸入数量が前年割れする中、クレイングラスは109%と増加している。
バミューダ	9/15時点での作付面積は、前年対比94%。例年1番刈は種取り用圃場が中心で、ヘイの生産は2番刈以降が中心となり、14年産では収穫がほぼ終了した。豪雨や湿度の影響で、良品の発生は限定的となっている模様。
ストロー類	14年産の米国产ストロー類は収穫が終了。トールフェスクは7割、ペレニアルライグラスは5割の雨当たり被害が発生している模様。引合いが弱く需要が減退しているとも伝えられているが、供給余力の懸念もあるため、産地価格は予想が難しい状況。
オーツヘイ	13年産は、発生が限定的なハイグレード品は強含みで推移したものの、中間・ローグレードの価格は弱含みで推移した。荷動きは順調で、日本の8月までの輸入数量も前年比108%と増加した。特に中国向けは飛躍的に数量が伸びており、産地価格は一転して強含みに推移しているとも伝えられている。産地では14年産の収穫が開始。どの産地でも4-5月に降雨があり、土壌水分に大きな問題はないと言われていたが、8月は降雨量が少なく、単収減が予想されている。また、安定的な収益が見込める小麦やキャノーラの作付が増えていことから、14年産作付面積は西で1-2割、南・東で最大1割程度減少していると予想される。

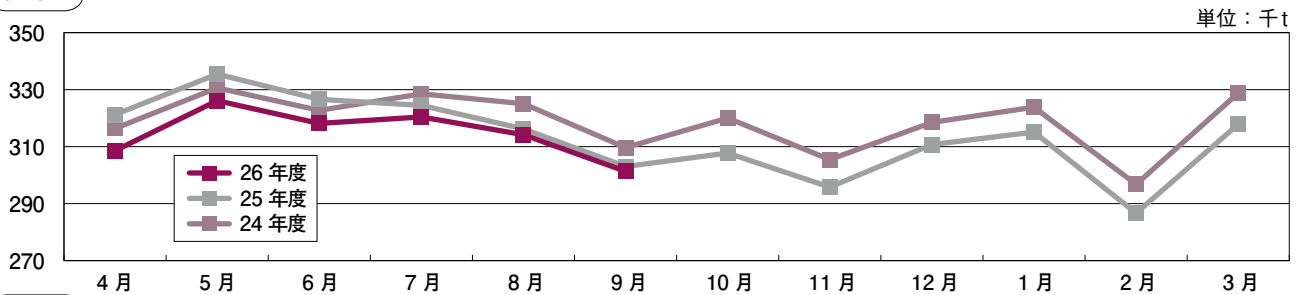
生乳受託販売乳量

受託販売乳量

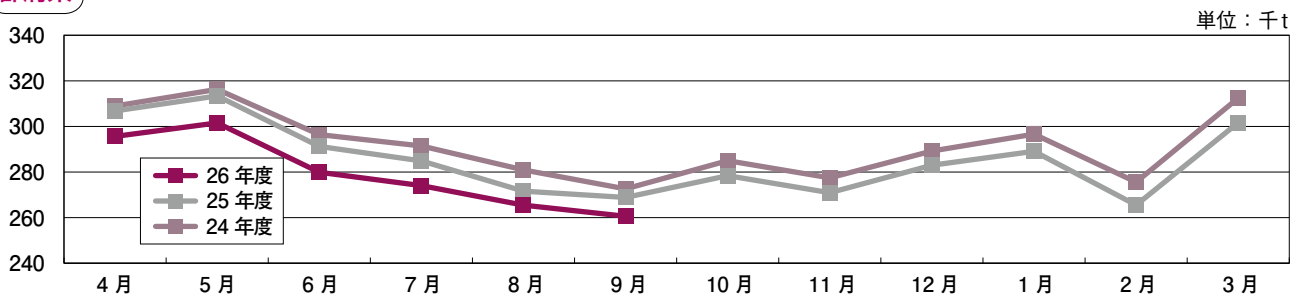
全国 561,928t で、前年同月比 9,944t(1.7%) 減少
北海道 301,341t で、前年同月比 1,680t(0.6%) 減少

都府県 260,587t で、前年同月比 8,264t(3.1%) 減少

北海道



都府県

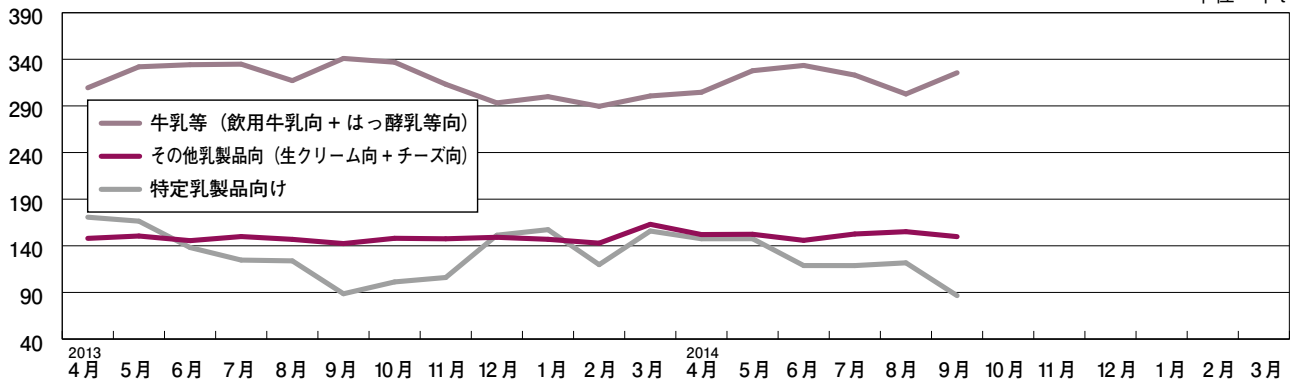


用途別販売数量

飲用向 290,097t で、前年同月比 9,221t(3.1%) 減少
はっ酵乳向 35,433t で、前年同月比 6,153t(14.8%) 減少
クリーム向 113,157t で、前年同月比 5,887t(5.5%) 増加

チーズ向 36,668t で、前年同月比 1,550t(4.4%) 増加
特定乳製品向 86,572t で、前年同月比 2,008t(2.3%) 減少

単位：千 t



各地の需給動向

【東北】生産は前年比 96.3%。各乳業者、特売自粛の影響もあり販売不調が続いたが、出来る限り飲用化を図った。その結果、飲用牛乳向け 96.6%、特定乳製品向け 102.1%となった。

【関東】生産は前年比 98.3%。日量的には 8 月末からほぼ横ばい。販売状況は、特売自粛の影響もあり芳しくなかった。中旬以降、広域からの搬入調整を行い飲用化に努めたが、加工は前年を上回った。飲用牛乳向け 96.9%、特定乳製品向け 123.6%。

【東海】生産は前年比 97.2%。販売は不調が続いた。飲用牛乳向け 97.3%、特定乳製品向け 158%。

【近畿・中国・四国】生産は近畿 93.0%、中国 95.0%、四国 94.9%。特売自粛の流れから、処理が伸びず、広域搬入のキャンセル等が相次いだ。(飲用牛乳向け前年比：近畿 93.0%、中国 94.3%、四国 101.1%)

【九州】生産は前年比 97.4%。9 月は天候涼しく、分娩も多いと聞いていたが回復が弱かった。乳業者の処理については、当初見込みが低かったためか、月を通して見込みから上ブレしていた様子。その結果、飲用牛乳向け 96.8%、特定乳製品向け 82.9%となった。

用途別生乳処理量

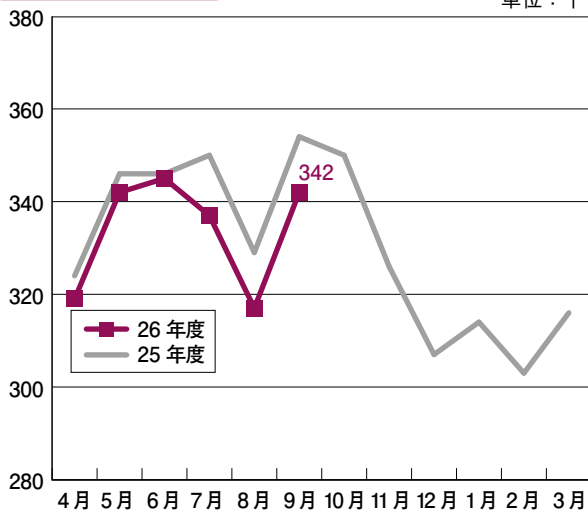
単位：千t

年月	生乳生産量	用途別処理量計							年月	生乳生産量	用途別処理量計						
		牛乳等向 ①	乳製品向								牛乳等向 ①	乳製品向					
			特 定 乳製品向 ②	その他乳製品向				特 定 乳製品向 ②				その他乳製品向					
				ク リー ム 向 ③	チ ー ス 向 ④	ク リー ム 向 ③	チ ー ス 向 ④					ク リー ム 向 ③	チ ー ス 向 ④				
2013. 4 月	650	645	324	321	171	150	106	44	2014. 4 月	627	622	319	303	148	155	112	43
5 月	671	666	346	320	167	153	107	46	5 月	650	645	342	303	148	155	112	44
6 月	638	633	346	287	141	147	105	42	6 月	619	614	345	269	120	149	108	41
7 月	632	627	350	278	126	151	109	42	7 月	618	613	337	276	120	156	113	43
8 月	608	603	329	274	127	147	107	40	8 月	600	595	317	278	126	153	111	42
9 月	593	588	354	235	91	144	107	37	9 月	583	578	342	236	88	148	109	39
10 月	608	604	350	253	104	150	109	40	10 月								
11 月	588	583	326	257	108	149	111	38	11 月								
12 月	616	612	307	305	153	151	114	37	12 月								
2014. 1 月	626	622	314	308	158	150	103	47	2015. 1 月								
2 月	573	568	303	265	121	144	102	43	2 月								
3 月	643	638	316	322	159	163	117	47	3 月								
年度計	7,447	7,390	3,964	3,426	1,626	1,800	1,298	502	年度計	3,697	3,667	2,002	1,665	750	915	665	251

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

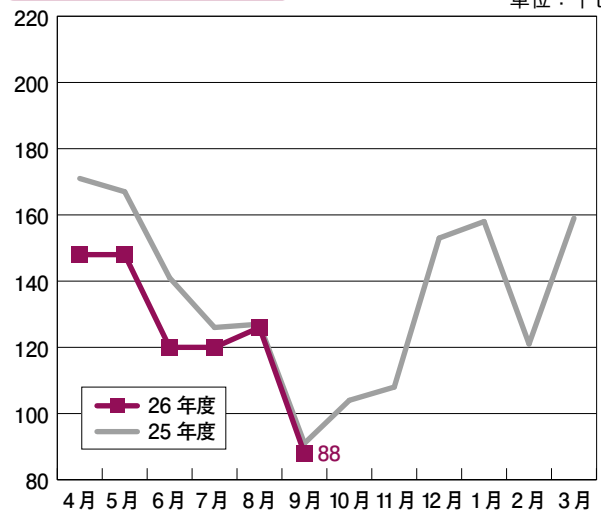
① 牛乳等向処理量

単位：千t



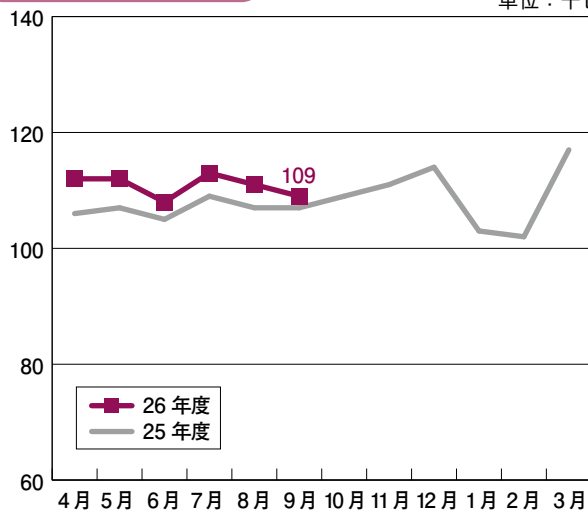
② 特定乳製品向処理量

単位：千t



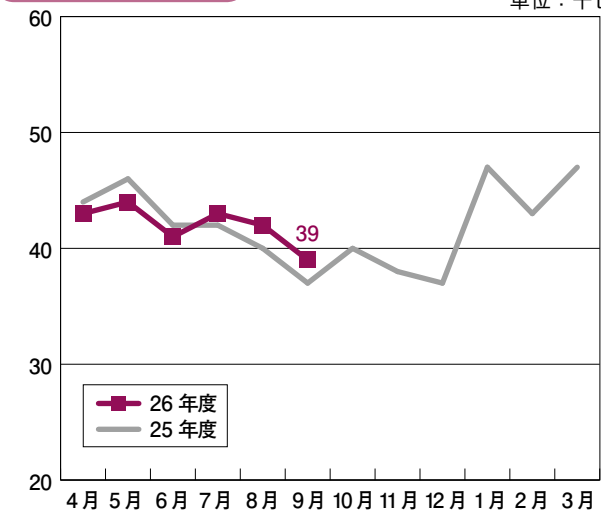
③ クリーム向処理量

単位：千t



④ チーズ向処理量

単位：千t



特定乳製品（脱脂粉乳・バター）の国内生産及び出回り量の推移

※生乳需給動向の指標となる特定乳製品の生産及び消費の動向です。

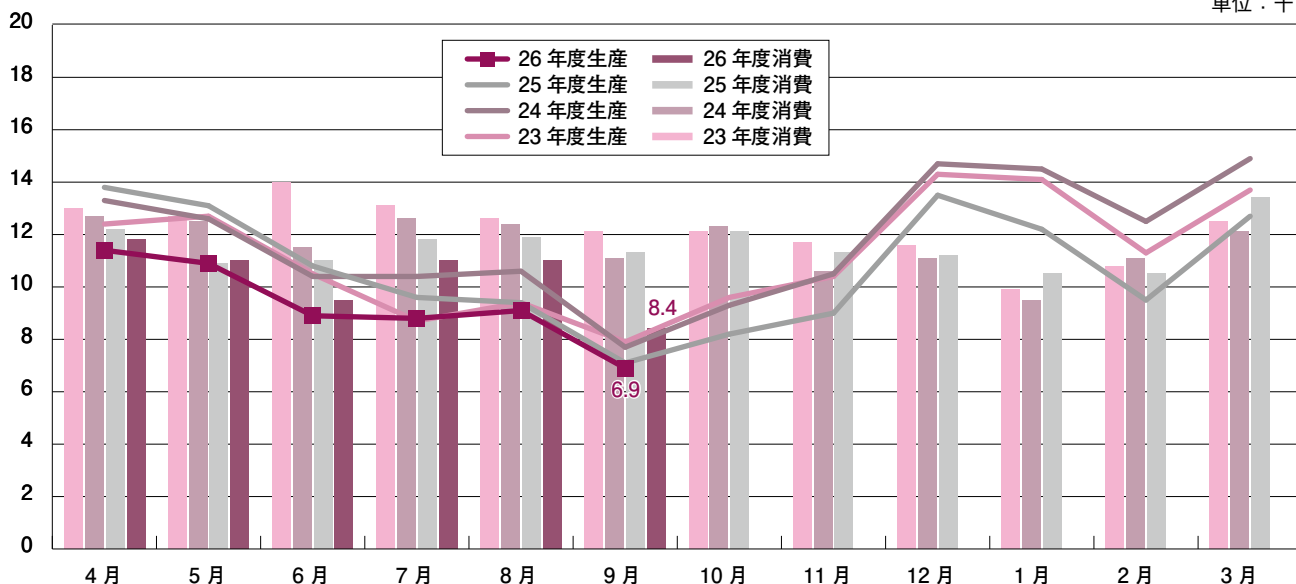
単位：千t

年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量	年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量
2013. 4月	13.8	12.2	7.0	6.1	2014. 4月	11.4	11.8	6.3	6.4
5月	13.1	10.9	7.0	5.5	5月	10.9	11.0	5.7	5.0
6月	10.8	11.0	5.7	5.8	6月	8.9	9.5	4.9	4.7
7月	9.6	11.8	5.1	5.8	7月	8.8	11.0	4.7	5.7
8月	9.4	11.9	5.1	5.7	8月	9.1	11.0	4.7	5.2
9月	7.1	11.3	3.6	5.0	9月	6.9	8.4	3.5	3.7
10月	8.2	12.1	3.9	5.5	10月				
11月	9.0	11.3	4.2	6.2	11月				
12月	13.5	11.2	5.5	7.3	12月				
2014. 1月	12.2	10.5	6.5	4.9	2015. 1月				
2月	9.5	10.5	4.8	5.7	2月				
3月	12.7	13.4	6.0	6.9	3月				
年度計	128.8	138.0	64.3	70.5	年度計	56.0	62.7	29.7	30.7

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、農畜産業振興機構、農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課調べ

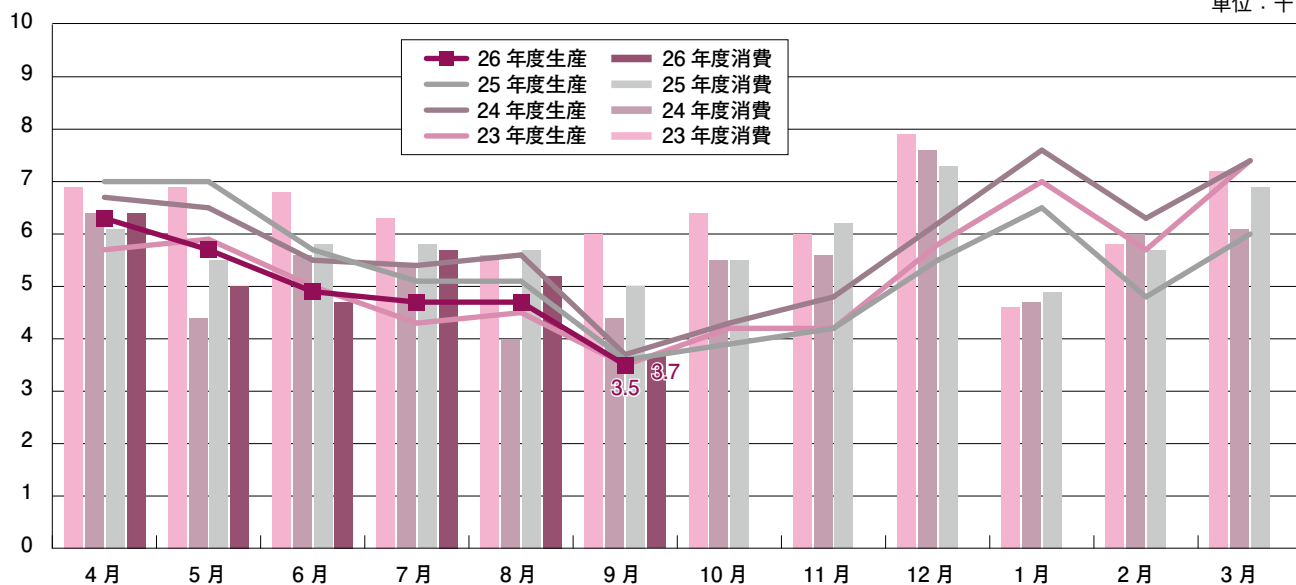
脱脂粉乳の生産及び出回り量推移

単位：千t



バターの生産及び出回り量推移

単位：千t

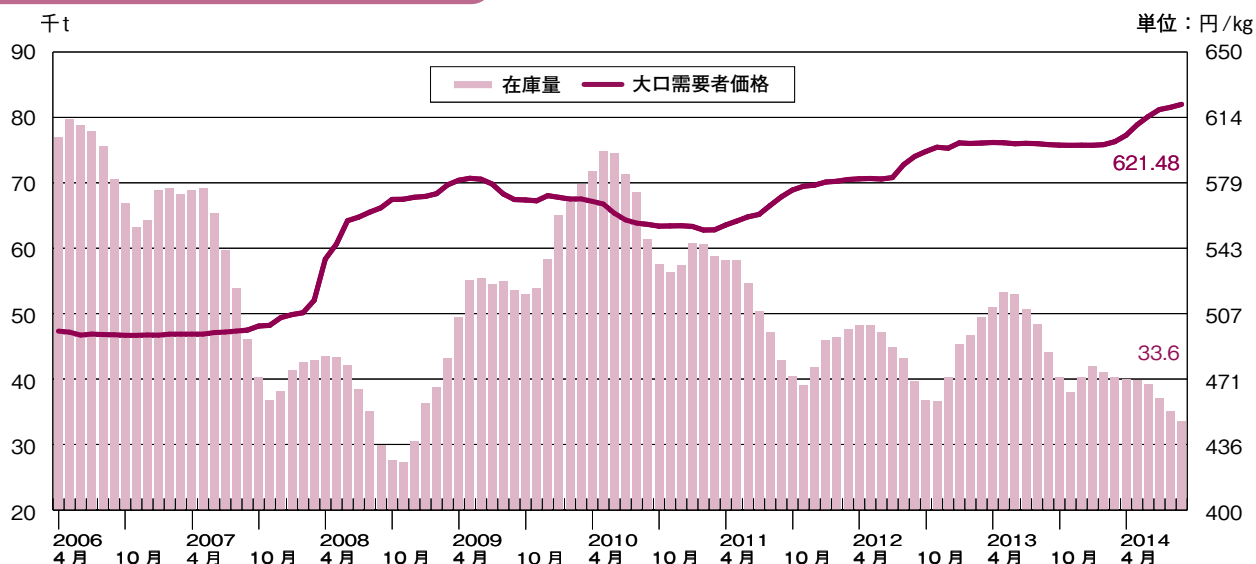


脱脂粉乳・バターの国内在庫及び大口需要者価格の月別推移

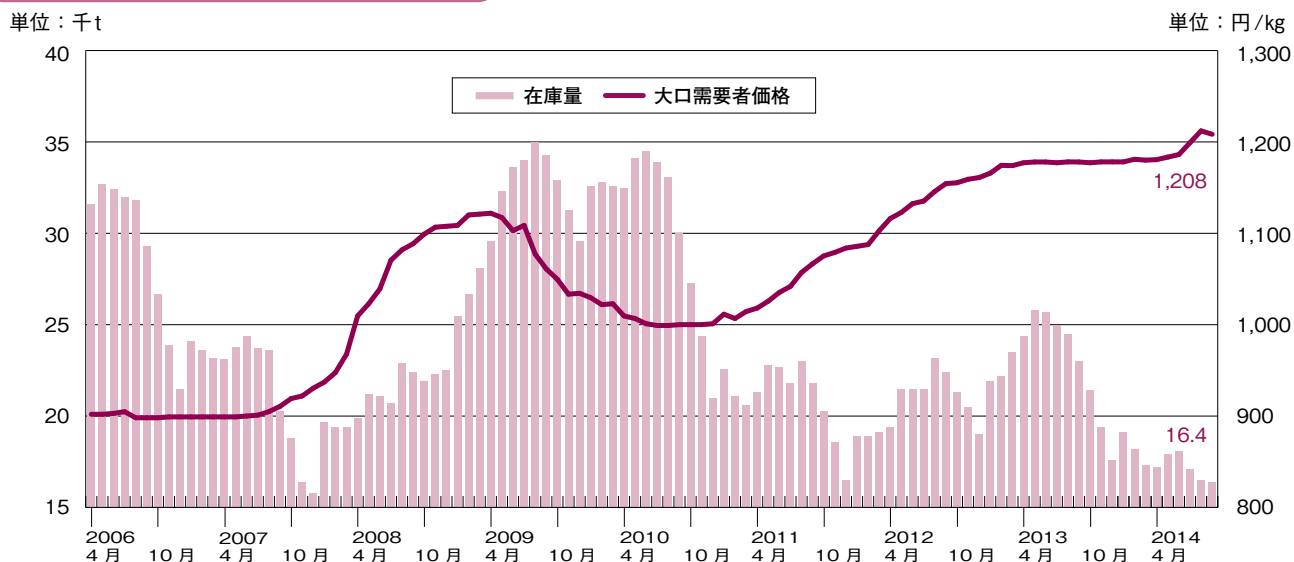
区 分	バター		脱脂粉乳		区 分	バター		脱脂粉乳	
	期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格		期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格
年月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg	年月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg
2013. 4月	19.4	1,116.2	48.2	580.80	2014. 4月	17.2	1,181	39.9	604.56
5月	21.5	1,122.9	48.2	580.99	5月	17.9	1,183	39.8	610.30
6月	21.5	1,132.4	47.1	580.69	6月	18.1	1,186	39.2	614.85
7月	21.5	1,135.2	44.9	581.49	7月	17.1	1,199	37.0	618.63
8月	23.2	1,145.7	43.2	588.53	8月	16.5	1,212	35.1	619.85
9月	22.4	1,154.3	39.7	593.03	9月	16.4	1,208	33.6	621.48
10月	21.3	1,155.2	36.7	595.73	10月				
11月	20.5	1,159.0	36.6	598.06	11月				
12月	19.0	1,161.0	40.3	597.52	12月				
2014. 1月	21.9	1,165.7	45.3	600.42	2015. 1月				
2月	22.2	1,174.3	46.7	600.11	2月				
3月	23.5	1,174.3	49.5	600.34	3月				
年度計	257.9	—	526.2	—	年度計	103.2	—	224.6	—

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、大口需要者価格

脱脂粉乳 国内在庫・大口需要者価格推移



バター 国内在庫・大口需要者価格推移





Z-B

酪農家バター200g×1個／酪農家チーズ225g×1個／酪農家6Pチーズ108g×2個／全酪とろけるスライスチーズ119g×1個／全酪スライスチーズ119g×1個／おいしいスモークチーズ60g×1個／ゆるチーズ150g×1個
〈アレルギー物質〉乳

お取扱期間 11/17~1/31

税込4,990円(本体4,620円) 冷蔵 簡易 短



Z-C

酪農家バター200g×1個／酪農家チーズ225g×1個／酪農家6Pチーズ108g×2個／全酪とろけるスライスチーズ119g×1個／全酪スライスチーズ119g×2個／おいしいスモークチーズ60g×1個／ゆるチーズ150g×1個／パウダーチーズ70g×1個
〈アレルギー物質〉乳

お取扱期間 11/17~1/31

税込5,670円(本体5,250円) 冷蔵 簡易 短



Z-A

酪農家チーズ225g×1個／酪農家6Pチーズ108g×1個／酪農家とろけるスライスチーズ144g×1個／酪農家スライスチーズ144g×2個／全酪クリームチーズ200g×1個
〈アレルギー物質〉乳

お取扱期間 11/17~1/31

税込3,942円(本体3,650円) 冷蔵 簡易 短



Z-S

全酪クリームチーズ200g×2個／酪農家6Pチーズ108g×1個／全酪とろけるスライスチーズ119g×1個／全酪スライスチーズ119g×1個／全酪脂肪分カットとろけるスライスチーズ119g×1個
〈アレルギー物質〉乳

お取扱期間 11/17~1/31

税込3,186円(本体2,950円) 冷蔵 短

デザート dessert



乳蔵 北海道バームクーヘン(メイプル)

乳蔵 北海道バームクーヘン(メイプル)×2個
〈アレルギー物質〉乳／卵／小麦／大豆

お取扱期間 11/20~12/31

税込3,888円(本体3,600円) 簡易 短



長崎カステラセット2本入り

牛乳風味370g×1本／チーズ風味370g×1本
※10等分カットタイプ

税込3,024円(本体2,800円)

長崎カステラセット3本入り

牛乳風味370g×1本／チーズ風味370g×1本／蜂蜜風味370g×1本
※10等分カットタイプ

〈アレルギー物質〉小麦／乳／卵

お取扱期間 11/17~1/31

税込4,104円(本体3,800円) 全 普



奥中山アイスSセット

バニラ130ml×2個／ブドウ130ml×2個／洋なし130ml×2個／イチゴ130ml×2個

税込4,212円(本体3,900円)

奥中山アイスIセット

バニラ130ml×2個／ブドウ130ml×2個／洋なし130ml×2個／イチゴ130ml×2個／コーヒータン130ml×2個／抹茶130ml×2個

〈アレルギー物質〉乳／卵

お取扱期間 11/17~1/31

税込5,508円(本体5,100円) 冷凍 短

全酪連の冬ギフト



本年度も「全酪連ギフトセット」お取り扱いの時期となりました。今年の冬季ギフトは11月中旬より1月末までの取扱となります。

お世話になった方々や大切な方々への贈り物に、是非、弊会ギフトセットをご利用頂きますよう、宜しくお願い致します。

毎年多くの皆様よりご愛顧いただいていることに、感謝申し上げます。この冬のギフトにも全酪連オリジナルの乳製品セットの他に、ギフト商品の定番であるハム・ソーセージセット、アイスクリーム、麺類など幅広い商品をご用意させていただきました。

今季は定番の全酪乳製品セットZシリーズ(Z-A・B・C・S)に加え、新たに“全酪ぬるチーズセット”をご用意させて頂きました。

このセットは、日頃からご好評を頂いている“ぬるチーズプレーン味”に加え、当ギフトセットのために開発された“マスタード味”と“オニオン味”の3種類を揃えたオリジナルギフトセットとなっております。

また、数量・期間限定商品のため1,000セット限定、期間も12/20~1/31着の限定出荷品となります。

この他に今季のZシリーズには、Z-S・Aに期間限定商品“全酪クリームチーズ”を組み入れてご用意させて頂いております。

この他のセットも十分にご用意しておりますが、数に限りがある商品もございますのでお早めのご注文をお願い致します。

チーズセット cheese



全酪ぬるチーズセット

ぬるチーズプレーン味150g×1個／ぬるチーズオニオン味150g×1個／ぬるチーズマスタード味150g×1個
(アレルギー物質) 乳

税込2,700円(本体2,500円) 冷蔵 簡易 短

ギフト専用商品
数量・期間限定

取扱期間
平成26年12月20日~
平成27年1月31日迄
(1,000セット限定)

麺 noodle



島原うどん平造り (21束・化粧箱入)

手延うどん平造り1束50g(乾麺)×21束
(アレルギー物質) 小麦

お取扱期間 11/17~1/31

税込2,808円(本体2,600円)

全 簡 短



全酪ラーメンセット

全酪博多ラーメン(とんこつ味5食、みそ味5食)／博多ラーメン(しょうゆ味10食)
(アレルギー物質) 小麦／大豆／牛肉／鶏肉／豚肉／魚介類／ゼラチン

お取扱期間 11/17~1/31

税込4,536円(本体4,200円)

全 簡 短

乳製品セット dairy products



飛驒バターギフト

アルプスバター200g×1個／はちみつバター130g×2個
(アレルギー物質) 乳

お取扱期間 11/17~1/31

税込3,400円(本体3,148円)

冷蔵 全 短

東毛酪農 カマンベール 3個セット

カマンベールチーズ100g×3個
(アレルギー物質) 乳

お取扱期間 11/17~1/31

税込2,808円(本体2,600円)

冷蔵 簡易 短



加工肉 meat



DLG-420G (2014年金賞セット)

ペッパーシンケン72g×1個／ハーブシンケン80g×1個／
熟成乾塩ベーコン80g×1個／フライシュケーゼ80g×1
個／辛口ポチキウィンナー150g×1個／ほそびきウィンナ
ー150g×1個
(アレルギー物質) 豚肉／大豆
お取扱期間 11/17～12/31

税込4,320円(本体4,000円)



GT-400

熟成糸巻ロースハム360g／ばら豚200g
(アレルギー物質) 小麦／大豆／豚肉
お取扱期間 11/17～12/31

税込4,320円(本体4,000円)



SP-510

熟成糸巻ロースハム320g／豚豚310g／ベーコン280g
(アレルギー物質) 小麦／大豆／豚肉
お取扱期間 11/17～12/31

税込5,400円(本体5,000円)



DF-100

ロースビーフ(和牛)270g×2個
(アレルギー物質) 牛肉／乳成分／小麦／大豆／鶏肉／
りんご
お取扱期間 11/17～12/31

税込11,000円(本体10,185円)



OC-40

北海道フランク220g×1個／北海道認証ベーコン80g×1
個／あらびきウィンナー110g×1個／ハーブウィンナー
135g×1個／行者にんにくウィンナー120g×1個／あらび
きフランク200g×1個
(アレルギー物質) 乳／豚肉
お取扱期間 11/17～1/31

税込3,908円(本体3,619円)



OC-50

ペッパーポーク320g×1個／北海道認証ベーコン
300g×1個／あらびきウィンナー110g×1個／ガーリック
ウィンナー110g×1個／バジリコフランク240g×1個／
あらびきフランク200g×1個
(アレルギー物質) 豚肉
お取扱期間 11/17～1/31

税込5,184円(本体4,800円)



■全国酪農業協同組合連合会

●本所 酪農部 (東京支所)	〒108-0014 港区芝4-17-5 相鉄田町ビル7F	TEL 03-5931-8008 FAX 03-5931-8025
●札幌支所	〒060-0003 札幌市中央区北3条西7-1 酪農センター	TEL 011-241-0765 FAX 011-241-0769
●仙台支所	〒980-0021 仙台市青葉区中央1-7-20 東邦ビル3F	TEL 022-221-5381 FAX 022-221-5384
●名古屋支所	〒460-0008 名古屋市中区栄1-16-6 名古屋三蔵ビル3F	TEL 052-209-5611 FAX 052-209-5614
●大阪支所	〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-14-10 サムティ新大阪フロントビル6F	TEL 06-6305-4196 FAX 06-6305-4899
●福岡支所	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-2-15事務機ビル7F	TEL 092-432-2121 FAX 092-431-6313

取扱上のご注意

1. 配送地区に制限のある場合もありますので、ご確認ください。なお、離島につきましては原則として配達できませんので、予めご了承ください。
2. お申込後のご返品、お取り消し(お届け先様ご不在、ご移転ご転居、受け取り拒否等による)扱いはいたしませんので予めご承知おきください。
3. お届け先様のご不在における取扱は、配送業者の取扱規定により対応します。
4. 掲載商品の価格には消費税及び配送料が含まれております。
5. 詰合せ内容・商品デザイン及び配列については、お断りなく一部変更する場合があります。
6. 商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。
7. **冷蔵** **冷蔵** マークの付いている商品はそれぞれ冷凍、冷蔵でのお届けになります。
8. **簡易** **全** マークの付いている商品はそれぞれ簡易包装、全包装となります。また、表示のない商品には包装はありません。
(簡易包装とは、包装紙を帯状に商品に巻きつけた包装形態のことです。)
9. **普通** **短** マークの付いている商品はそれぞれ普通サイズ、短冊サイズの熨斗となります。

人事異動

新	旧	氏名
■平成26年11月1日付異動発令 総務部 特命担当(福島原発事故問題担当) 兼 法務・コンプライアンス課長	狭山工場長	米 倉 光
■平成26年11月1日付昇格発令 狭山工場長 狭山工場 製造課長	狭山工場 次長 兼 製造課長 狭山工場 総務課	大 木 高 明 野 崎 哲

北海道 乳牛産地情報

平成26年11月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇩……やや弱含み ↓……弱含み

事 務 所	畜 種	相場(万円)	価格状況	管 内 状 況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	27~32	→	10月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計98.6%、累計96.9%、苫小牧管内月計100.6%、累計99.8%の実績。11月の初妊牛動向について、1~2月の分娩牛中心となる。乳量確保のために自家保留する個体が多いと見込まれ、出回り頭数は少なくなる模様。道内・都府県からの引き合いも強いため価格は堅調に推移するものと思われる。
	初 妊 牛	48~55	▼	
	経 産 牛	43~48	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	28~35	→	10月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計98.3%、累計96.6%、中標津管内月計99.0%、累計97.0%の実績。11月の初妊牛は年明け分娩牛(1~2月分娩)中心で動く。遠い分娩腹の購買がなされているとともに、地元新規就農者の導入やメガファームの継続的な導入などにより購買需要は高くなっている。当地区では生乳生産量が落ち込んでいるため、年明けからの増産をするために自家保留を勧める農協もある。
	初 妊 牛	48~57	→	
	経 産 牛	45~50	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	27~34	→	10月中旬までの生乳生産量前年比は、月計101.1%、累計99.8%の実績。10月末には公共牧場からの下牧もほぼ終了し資源は豊富だが、一方で自家保留をする動きがあり、市場に出回る頭数は少ない見込み。11月の初妊牛動向について、1月下旬~2月の分娩腹中心の荷動き。分娩の腹としては、F1腹が最も多く、選別精液腹は出回り頭数が少ないことが見込まれ、購買需要の高まりとともに価格は上昇するものと思われる。
	初 妊 牛	50~57	▼	
	経 産 牛	45~50	→	
道北管内	育成牛(10-12月令)	27~34	→	10月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計98.3%、累計97.7%、北見管内月計99.8%、累計99.2%の実績。10月下旬~11月は農協及び公共牧場の下牧が始まり、各地区とも資源は豊富だと思われるが、荷動きは早くなっている。11月の初妊牛の動向は、1~2月中心の分娩牛となり都府県の需要及び道内大型農家の需要が重なり価格は横這いで推移することが予想される。特にF1腹を中心に荷動きがなされる。
	初 妊 牛	50~55	→	
	経 産 牛	40~45	→	
道内総括	育成牛(10-12月令)	27~33	→	10月中旬までの生乳生産量前年比は、月計99.5%、累計98.2%の実績。11月の初妊牛動向は、1月~2月分娩中心。夏季放牧地からの下牧がほぼ終了し、各地区ともに資源的には豊富。年内は全道的に活発な荷動きとなるが、年明けは自家保留して搾る動きもあり、育成農家の初妊牛は市場に出回るが、酪農家からの初妊牛の出回り頭数は減少傾向の予想。資源の荷動きが速い時期のため、お早めの注文をお願いいたします。
	初 妊 牛	50~56	→	
	経 産 牛	45~50	→	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。庭先選畜購買のため、市場購買とは異なり、価格差が生じます。

今月の表紙

うまさんとうしさん

今月の表紙は、「第5回酪農いきいきフォトコンテスト」(第43回全国発表大会にて開催)で入選に輝いた作品「うまさんとうしさん」(山口県 藤井 直良氏 撮影)です。愛らしいうまさんにうしさんも興味津々な様子が伺えます。



▼本文でもご紹介した通り、10月29日に理解醸成活動を東京・有楽町駅前で開催いたしました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げますと共に、酪農業に対する理解の一助になればと願います。

編集後記

shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

平成26年11月10日発行(毎月1回10日発行)

ZENRAKUREN
MEMBER'S INFORMATION

全酪連会報 11月号 No.590

●編集・発行人 中島 裕志郎

●発行 全国酪農業協同組合連合会

〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号

TEL 03-5931-8003

http://www.zenrakuren.or.jp/



美里小学校(九州)2年 山崎優依

今月の



入賞作品紹介



今月の入賞作品は、美里小学校(九州)2年の山崎優依さんの作品です。
水彩絵具とクレヨンを使って描いています。牛さんの模様を白黒でしっかり力強く描けました。オレンジ色の帽子と背景の青が鮮やかに目に飛び込んでくる作品。女の子の笑顔がとても魅力的です。

※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第41回らくのうこどもギャラリー」で
全国451点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議